

旧村川別荘だより

146号



令和元年5月21日発行
 旧村川別荘市民ガイド事務局
 教育委員会 文化・スポーツ課
 担当：斉藤、海老原、手嶋、今野
 〒270-1166
 我孫子市我孫子 1684 番地
 TEL:04-7185-1583 (直通)
 E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

5月の月例会が開催されました

今回は史上初?とも言える長い10連休のあと、令和になってはじめての月例会を9日に行いました。月例会では5月と6月のソフト調整のほか、いくつか連絡事項をお伝えしました(後述の連絡事項をご確認ください)。

「平成30年度の発掘調査成果について」

今回の月例会では、昨年度行った発掘調査について、文化・スポーツ課の手嶋よりお話をさせていただきました。

●古代の我孫子について

◎古墳時代

我孫子市の古墳は、手賀沼沿いと利根川沿いに集中しています。なぜここに古墳が集中しているのかというと、自分の権力を誇示するため、外から見えることが重要だからです。我孫子のように水辺に囲まれている場所では、船で来た時にふと見上げると見える小高いところになります。

手賀沼沿いの水神山古墳は昭和40年代に発掘された4世紀後葉のもので、当時は我孫子最古の古墳と言われていました。しかし、後の調査で前原古墳という3世紀後葉の古墳が発掘されました。水神山古墳は前方後円墳で、前方後円墳の巨大なものは畿内が中心です。このことから、4世紀ぐらいには、中央と我孫子はかなり交流があったと考えられます。

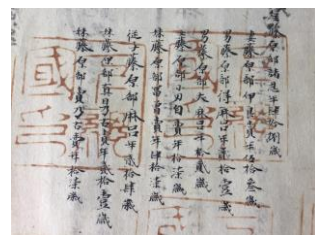
◎奈良・平安時代

古墳時代との一番の違いは、律令という法律ができたことです。では、当時の我孫子はどうだったのか。我孫子には、下総国相馬郡の中心となる役所、郡衙が置かれており、地方都市としてはかなり栄えていたと考えられます。郡衙が置かれていたと考えられるのは、日秀西遺跡(現在の湖北特別支援学校)で、税として集めた米を貯めておく掘立柱の建物がきれいに並んだ形で見つかったためです。

次に「久須波良部」と書かれた墨書土器についてお話しします。

ところで正倉院文書には、養老五(721)年の相馬郡の戸籍が残っています。そこには藤原部という一族がいたことが書かれています。では、久須波良部と藤原部、どのような関係があるのでしょうか?

実は『続日本紀』に天平宝字元(757)年に藤原部という名前の人が久須波良部に変更するよう求められたことが記されています。このことから、戸籍に記されていた人々が実際に我孫子に暮らしていたことがわかり、かつ墨書土器の久須波



良部にもつながるのです。墨書土器は湖北郷土資料室に展示されています。まだ見たことのない方は、ぜひ一度資料室へ足をお運びください。

●平成30年発掘調査成果について

それではいよいよ本題に移ります。昨年掘った遺跡のうち、中里区にある別当地遺跡についてお話しします。ここでは主に奈良・平安時代の竪穴建物や掘立柱建物が発見されています。今回の調査では、約4,500㎡と広範囲の調査が行われ、竪穴建物54棟、溝3条、土坑44基、円形有段遺構1基が確認されました。



溝とは何でしょうか?昔の人は土地を区切ったりするのに溝を掘って境界線としていました。

今回発見された溝は、日秀西遺跡にある相馬郡衙に関連する区画の溝ではないかと考えられます。

写真からもわかるように、溝の上から竪穴が作られています。竪穴が9世紀くらいと考えられるため、溝自体は8世紀くらいのものであると考えられます。

◎すり鉢状の遺構？

今回の発掘で確認されたものとして、円形有段遺構があげられます。これは幅3m×深さ3mと大きくて深いもので、すり鉢状になっており、底近くに平らな面と中央にもう一段掘り込みを持っています。これは何の跡なのでしょう。



このような遺構は全国的に見つかっています。県内でも市川市須和田遺跡などで類例が報告されており、古代の氷室ではないかと考えられます。

通常、遺構から出た遺物によって時代を

考察することができますが、今回は有力なものが出てこなかったため、この遺構のみでは時代の特定は困難でした。ただし、この遺構は7世紀と9世紀の竪穴に挟まれていました。そのため、この有段遺構は8世紀くらいのものではないかと推測できます。

先述した市川市の須和田遺跡も8世紀後半のものとして報告されているため、大体同時期ではないかと考えることができます。

◎玄関のある竪穴建物？

今回、玄関のある竪穴建物も発掘されました。建物に玄関があるのは普通なのでは？と現代の感覚では思いますが、実は基本的に竪穴建物には玄関はありません。跡として残っているのは非常に珍しく、今のところ類例は見つかっていません。周囲の状況から、8世紀中葉までの建物であると考えられます。また、この建物にはカマドの跡が2つあります。当時カマドはある程度使用すると付け替えるものであったため、ある程度長い期間

使用していた建物であるということも推測できるのです。

◎調査から見えてきたこと

今回の遺跡の調査で、相馬郡衙の様相の一部が明らかになりました。別当地遺跡には、今までも郡衙で仕事をする役人などが暮らすための居住区（官舎のようなもの）が存在すると考えられてきましたが、今回の調査でその考えにより信憑性が増したことになります。

現在推定される郡衙遺跡の規模を見ても、我孫子という地が重要な役割を担っていたことがわかります。

連絡事項

前回もお話させていただきましたが、今年も11日（土）～6月9日（日）まで「我孫子アートな散歩市」が開催されます。旧村川別荘の母屋も会場となりますが、新館は「カメラがのぞいた風景」展を開催しているため、通常どおりの開館となります。開催中、何かお気づきの点や、確認事項等ありましたら、文化・スポーツ課までご連絡ください。

また、今回この旧村川別荘だよりとともに、名簿作成の同意書を送付させていただきます。

前回の名簿作成から時間が経過し、電話番号等の変更があった方や、新しく加わった方もいらっしゃいますので、令和元年のこの機会に、改めて作成したいと思います。前回までにいただいた情報を記載してありますので、変更があった場合または公開したくない情報がある場合はその旨ご記入ください。個人情報となりますので、公表項目等については、皆さまのご判断にお任せいたします。6月の月例会にお持ちいただくか、教育委員会にご持参・ご郵送いただきますようお願いいたします。※個人情報のため、シフト表のボックスには入れないようお願いします。

名簿は、7月1日の月例会で配布できればと考えています。

次回は・・・

令和元年6月1日（土）午前9時30分

から旧村川別荘新館にて月例会を行います。今年度に入って初の1日開催です。どうぞよろしく申し上げます！